

LIBRARY NEWS

令和8年4月21日 No.1
新座市立第三中学校
校長 近藤 章宏
(図書室だより) 図書整理員 名本 浩子

すっかり緑の若葉になった桜に替わって、名も知られていないような小さな花たちが、次は自分たちの出番だと言わんばかりに咲き誇っています。

新入生のみなさん、在校生のみなさん、入学、進級、おめでとうございます。今年度も、みなさんが読みたいと思う本をそろえた、居心地のよい図書室づくりに努めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

「文章を読むことが苦手だ。」「どんな本を読んだらよいのか わからない。」そのような理由で、読書から遠のいてしまっている人もいます。しかし、本には、文学だけではなく、さまざまな分野の本があり、図鑑や解説書のように、写真やイラストを中心にまとめられた資料もありますし、また、本選びで困ったときには、図書室だよりや特設コーナーの図書案内を参考にしたり、図書整理員に相談したりできます。

まず、一冊、手にとってみましょう。内容がおもしろそうなタイトル、目を奪われるような装丁、好みのイラストで描かれた表紙、あなたを引き寄せる一冊を。そして、また、一冊と。

図書室は、本の貸し出しや返却、読書や学習の場だけではありません。いら立ちや不安で心がざわついたり、気持ちが沈んだりしたとき、図書室の棚に並んだ本たちがあなたにそっと寄り添い、その静かな空間が、気持ちを穏やかにしてくれたり、心を和ませてくれたりすると思えます。

三中の図書室で、心を豊かにする時間を楽しんでください。みなさんの来室を楽しみにしています。

お待たせしました！いよいよ開室します！！

互いに利用する人のことを考え、みんなが安心して気持ちよく利用できるようにご協力をお願いします。

図書室の利用について

利用は、昼休み、放課後とも全学年、利用可能です。

- ① 一度に借りられる冊数は、通常**3冊**です。夏休みや読書週間の特別貸し出し期間では、冊数と貸し出し期間が増えます。
- ② 貸し出し期間は、**1週間**です。**返却期間を必ず守ってください**。もし、期間内で読み終わらない場合は、一度返却の手続きをして、再度借りるようにしてください。
- ③ 図書室の開室日は、「図書室開室予定表」で確認してください。返却予定日に図書室が閉まっているときは、図書室入り口前の、『返却BOX』に返却本を入れてください。



詳しくは、
「**図書室 利用案内**」で
確認してください。

[図書室からのお願い]

* **マナーを守ってみんなが気持ちよく使える図書館にしましょう。**

室内では、貸し出しや返却の手続きなどの必要な会話以外は控えてください。図書室では、本の貸し借りだけでなく、読書したり、勉強したりする人もいます。室内では、静かに過ごしましょう。

- ・本を読んだり、資料を見たりする場合は、所定の場所に座って、落ち着いて取り組みましょう。
- ・本の貸し出しや返却の手続きの際、カウンターが混雑しているときは、静かに順番を待ちましょう。

* **本を傷めないように、大切に扱きましょう。**

- ・本のふせ置きやページを折ったり、書き込んだりしないで、しおりやメモ帳などを使いましょう。
- ・雨水などでぬれないように気をつけましょう。

先日、4月9日（木）に、「全国書店員が選んだいちばん！売りたい本 2026年本屋大賞」に、『イン・ザ・メガチャーチ』（朝井リョウ/著、日経BP 日本経済新聞出版）が受賞したことが発表されました。

そこで、昨年度にもこの本を紹介しましたが、再度、この作品の内容を加えて紹介します。



作家生活15周年記念作品

あなたは、熱狂的な「推し」がいますか。アイドル運営に携わる男性、アイドルグループの一人に自分を重ね、夢中になっていく大学生、情熱を注いでいた俳優が自死し、それをだれかの陰謀だと主張する女性。“ファンダム” — 特定の「推し」を熱狂的に愛し、応援するファンたちのコミュニティ。ここに登場するファンダムの姿は、あなたにどう映るでしょうか。

海外の文学、本や図書館が題材の小説

昨年末に入った本で、まだ紹介していない作品を紹介します。

『涙の箱』 ハン・ガン/著 きむ ふな/訳 (評論社)



美しい表紙にも惹かれます！

2024年にノーベル文学賞を受賞した作家による大人のための童話

予測不能なタイミングで涙を流す「涙つぼ」と呼ばれる子ども。感情や理由によって色を変える涙を集め、売買している男。子どもは次の買い手のところに向かう男に同行する。
生きてると泣きたくなることがあるけれど、強く生きていこう。そんな希望と勇気がわいてくる一冊です。

『本と歩く人』 カルステン・ヘン/著 川東 雅樹/訳 (白水社)



本を愛し、書物とともにあることが生きがいの老書店員が、利発でませた少女と出会い、現実世界との新たな接点を取り戻していく物語。
本を配達する二人と、客たちとの交流。そして、思いがけない結末の後はほのぼのとした読後感に包まれることでしょう。

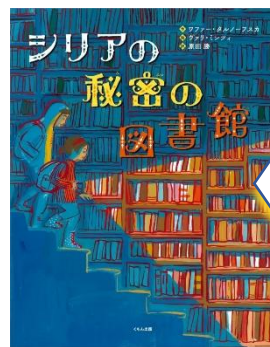
『プロジェクト・ヘイル・メアリー』 上・下 アンディ・ウィアー/著 小野田 和子/訳 (早川書房)



2026年3月 映画公開

「アルマゲドン」に続く地球最大の危機再来?!
未知の物質によって太陽に異常が発生し氷河期に突入しつつある地球。全生命滅亡まで30年。ひとりの科学教師が、人類を救うミッションに挑む。
SFの傑作、極限のエンターテイメントをお楽しみください。

『シリアの秘密の図書館』 ワファー・タルノーフスカ/著 ヴァリ・ミンツィ/絵 原田 勝/訳



シリア内戦下のダラヤで、空爆により瓦礫と化した町から、若者たちが本を救出し、地下に「秘密の図書館」を作った。
本は、生きる希望のよりどころだった。
本を読むことで、絶望的な状況を生き抜こうとした人々を描いた実話にもとづく物語。

『ハウスマイド』 フリーダ・マクファデン/著 高橋 知子/訳 (早川書房)

2026年本屋大賞 翻訳小説部門第2位



2026年度「ミステリが読みたい!海外篇」第1位

ミリーが手にしたハウスマイドの仕事。しかし、この家は何かがおかしい。妻の奇妙な言動。牢屋のような部屋。
二転三転する展開、恐怖と驚きの結末。
怖い本が好きな人はぜひ!

4月23日は「子ども読書の日」
～物語は偶然の一冊からはじまった～
【こどもの読書週間】
4月23日～5月12日



ゴールデンウィーク G W は「読書」を楽しもう!

